

釧路南ロータリークラブ会報

第 24 回 例 会 報 告 2018.1.19 通算 1707 回

・点 鐘 上川原会長

・ロ - タ リ - ソ ン グ
「我等の生業」



ソングリーダー 佐藤 真之介会員

・誕 生 祝
高橋 康成会員 S 19. 1. 22 (74 歳)

・会 長 挨 拶



みなさん、こんにちは。
会長挨拶をさせていただきます。
先週の新年交礼会には数多くの皆様にご出席いただき感謝申し上げます。また、皆様の元気な顔でお会いできたことに嬉しく思いました。
本年も早くも一月の後半に入っていきますが、皆様風邪などひかぬようお気をつけください。

風邪ということですが、インフルエンザが12月の末より急激に流行してきていると新聞、テレビで報道されております。年末までに医療機関に受診したインフルエンザ患者は101万人であったようです。その1週間前の推計だと66万人であったということで、1週間で35万人増えたことになると思っております。特に関東地方での気温の低下等も原因の一つであると思っております。また、今年のインフルエンザの症状が今までと違ってきていること、「隠れインフルエンザ」も影響していると・・・症状が軽いと言っても注意をしてください。手洗い、うがい、マスク着用、加湿もしっかり行うことが予防につながりますので、皆様、健康管理には十分気をつけましょう。



・幹 事 報 告



* 厚岸RCより1月例会案内と会報が届いております。

・委員会報告

親睦委員会

・本日のニコニコ献金

高橋 康成会員 誕生祝として



親睦委員会報告 早津会員



職業奉仕委員会報告 長江会員

・本日のプログラム

「 会員卓話(年男大いに語る) 」

担当 会員選考維持委員会

◆会員選考維持委員会 佐野委員長挨拶



◆工藤 ゆかり会員



ロータリアンとして、22 年を振り返り、私の思い出ランキングベスト3 を作ってみました。

第3位

10 数年前のことです。旭川の地区大会へ行く途中、S 会員の運転で、層雲峡を過ぎ、高速道路、間違えて乗ってしまい、高速道路をUターンしようとした時、「だめだめ」と皆で止めたこと。すぐに、後ろを見たら、後ろからは木内さん達が乗っている車も、ちゃんとしてきていました。次のインターチェンジで降りて、再度旭川方向に乗り、しばらくして、今度は降りる所を、通り過ぎてしまい。次のインターチェンジで降りました。また、すぐ後ろを見たら、やっぱり木内さん達が乗っている車も、ちゃんと、ついてきていました。後で、木内さん達から、何してるの？と言われてしまいました。あの時は車の中で本当に笑ったことを覚えています。笑うしかなかったです。たしか、この時は、何か楽しい話をしながら、だったのでうっかり間違えたと記憶しております。

第2位

北上会長年度の時の、幹事をやらせて頂いた 1 年、本当に楽しい 1 年でした。その中で、一番の思い出ですが、この年、帯広で周年行事があり北上さんと二人で、J R で行きました。少しびっくりしたのは、釧路の他クラブの会長・幹事さん達も沢山参加し、来ていた事でした。懇親会は円卓で、知らないロータリアンの方たちばかりで、私が「せっかく縁あって、同じテーブルになった事なので」と、声を掛け、名刺交換を行いました。その時の、音更ロータリーの会長幹事さんが、クラブのメンバー達が、居酒屋で1次会をやっているの、J R の時間まで、一緒に行きませんか、声を掛けていただき、北上さんと私と清水幸彦パストガバナーの3名で、お邪魔させていただきました。2次会まで行き、カラオケで盛り上がり楽しいひと時でした。その時の会長エレクトが黒川さんで、私も会長エレクトなのです。

と、意気投合してしまい、私が会長の時に、幹事が長倉さんで、そこで黒川さんに長倉さんを紹介しました。黒川さんと長倉さんの、ロータリー人生の出会いとなり、現在に至っております。

第1位

長江ガバナー補佐年度の時のガバナー補佐幹事をやらせて頂いた1年も楽しい思い出がたくさんあります。その中でも一番の思い出は、長江ガバナー補佐と森江会長と佐藤了かんじとわたしの4名で、韓国の地区大会に参加させて頂いた思い出です。釧路の空港で、これから搭乗という時、森江さんがいきなりぎっくり腰になり、羽田の空港の薬局で、腰ベルトを購入し何とか大丈夫だったこと。まずは、一安心しました。あの腰ベルトがなければ、森江さんは釧路に帰るところでした。機内での席は、行きも帰りも非常口のところで、少しゆったり。何もなかったのも、ラッキーでした。

ホテルでは、シャワーの出し方がわからず、翌日聞いて、やっとシャワーが出て一安心。食事は私の口には、少し合わなかったです。陶器ではなくブリキのお皿、鉄の長い箸など、色々びっくりすることがたくさんありました。新晋州ロータリークラブの会員の皆様の心温まる歓迎。会員のご家族の皆様とお食事そしてお見送り等、とてもうれしかったです。地区大会は、これまたびっくりすることばかりで、包丁やカマが売られていたこと、お土産になるようなものなど、一切無かったです。奥様たちの参加と、そのステージでの大音響の音楽と、ものすごい花火、大歓声は本当に驚きました。日本とは全然違います。国が違うと、こんなにも違う事に感激しました。その他にも沢山、楽しい思い出はあります。韓国訪問は、とても、楽しかった旅行の思い出です。参加させて頂き、とても良い経験をさせて頂きました。

そして何とんでも、この年の、ガバナー公式訪問での、佐藤了幹事です。佐藤了さんは、上川原さんを川上原さんと、間違えたり、時々皆を笑わしてくれた方でした。ガバナー公式訪問で、佐藤了さんが司会、緊張していたのか、いきなり大きな声で、桜田バナナーと言ってしまい、あわてて言い直して、また桜田バナナーと言ってしまい、そこから私は壺にはまり、笑ってはいけない場面なのに、おかしくて、おかしくて、どうにも止まらなくなり、頭を下げてこらえて、やっと収まったので、頭を上げると森江会長と目が合い、また、壺にはまり、本当にあの時はつらかったです。森江会長も（ゆかりちゃん

の肩が、がくんと落ちて肩が上下に動いているのを見て、自分もおかしいのをこらえるの本当につらかった）と言っておりました。佐藤了さんのガバナー公式訪問での、段取りが悪く、会員の皆さんに、多大なる迷惑をかけたこと、会員の皆さんの協力で、何とか無事終わったガバナー公式訪問、何度も佐藤了さんに話をしても、「俺が悪いの」と、いうから、「そうだよ」と、言ってもわかってくれない。何度も何度も、木内さんと一緒に話をしても、わかってもらえなくて、それでも、私にとって佐藤了さんは、頑固なところもあるけれども、お酒が強く、やさしくて、包容力もあり。皆を善く笑わしてくれた、ムードメーカー的な方で忘れることが出来ない、本当に素敵な人、友として大好きな方でした。私の思い出ベスト3でした。

時間が余ったので、外国での盲目のホームレスのお話をさせていただきます。盲目のホームレスが路上に座り、ダンボールに「私は、目が見えません」と、書いてあるダンボールと空き缶が添えてありました。人通りは良いのですが、お金を入れる人は少ないです。ある日一人の女性が、盲目のホームレスの前に立ち、何も言わずいなくなりました（ホームレスは靴を触って女性とわかりました）しかし、その途端に、空き缶にお金が、毎日じゃんじゃん入れられるようになりました。ある日一人の女性が、また、盲目のホームレスの前に立ちました。（ホームレスは靴を触ってあの時の女性とわかりました）ホームレスは、あの時、何をしたのですかと聞くと、ダンボールに「私は、目が見えません」と書いてあったので、私はこう書きました。「今日は良い天気ですね、でも私にはこの空を見ることが出来ません」と書いてだけよ。そう言って女性は立ち去りました。何故か、私の心に残った言葉のマジックでした。



・ 次回のプログラム

1月26日（金）

「 職業奉仕月間に因んで 」

会場 ホテルクラウンヒルズ釧路 12:30～

担当：職業奉仕委員会

・ 点 鐘 上川原会長
今週の会報担当：亀岡孝会員